

陽明文庫

講座

2017年
1月29日(日)
14:00~16:00



酒井抱一『四季花鳥図屏風』(陽明文庫所蔵)



基調講演

「近衛家における故実の継承」

尾上陽介 東京大学史料編纂所教授

「歴代関白記余談」

名和修 公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長

※講演後に、両者による対談も予定されています。



国宝『御堂関白記』(陽明文庫所蔵)



主催：科学研究費補助金(基盤研究(S))

「日本目録学の基盤確立と古典学研究支援ツールの拡充 一天皇家・公家文庫を中心に」
(研究課題番号：24222001 代表者：東京大学史料編纂所 教授 田島 公)

共催：杉並区教育委員会、東京大学史料編纂所 後援：公益財団法人陽明文庫

会場：セッション杉並(3階 第8・9・10集会室) ■事前申込制 ■定員/120名 ■参加費無料

お問い合わせ
お申し込み先

東京大学史料編纂所 基盤研究(S) プロジェクト室 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
Tel:03-5841-5959 E-Mail:youmei@hi.u-tokyo.ac.jp

お申し込み専用フォーム：<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

お申し込みは裏面へ

科研費
KAKENHI

陽明文庫講座

■開催日時：2017年1月29日(日) 14:00~16:00
■開場：13:30 ■定員：120名

申込期間

12月21日(水)～1月10日(火)

申込方法

事前申込制

往復はがき、メール、専用フォームのいずれかでお申し込みください。

※申込時確認事項：氏名、住所、連絡先電話番号、人数(1通につき2名まで)

- 応募者多数の場合、申込期間後に抽選を行います。
- 当落結果・参加方法については、1月11日以降に返信用はがき、またはメールによりお知らせいたします。

お問合せ・申込先

東京大学史料編纂所 基盤研究(S)プロジェクト室
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 Tel: 03-5841-5959
E-Mail: youmei@hi.u-tokyo.ac.jp

※携帯電話でお申し込みの際には、受信拒否設定の解除、PCメールの受信許可の設定等、ご対応をお願いいたします。

申込専用フォーム：<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

※一部対応しない機種もあります。専用フォームご利用の方は、複数名でのお申し込みの場合、追加の参加者氏名を備考欄にご入力ください。

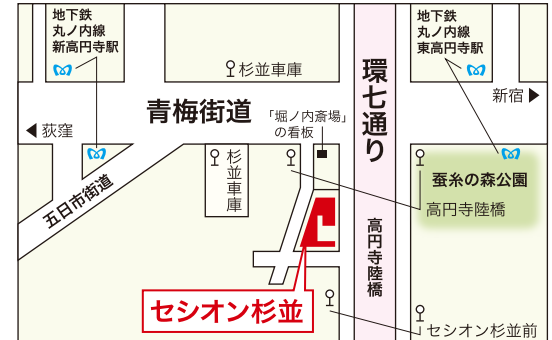
※12月26日(月)～1月4日(水)の間、冬季休業につき、メールでのお問い合わせを含む受付業務を休止させていただきます。ご不便をおかけいたしまして申し訳ございませんが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

※応募時にご記入いただいた個人情報は、本講座に関するご連絡にのみ使用いたします。

会場等のお問い合わせは

杉並区教育委員会生涯学習推進課文化財係
Tel: 03-3312-2111 内線 1666

アクセス



地下鉄丸の内線「東高円寺駅」より徒歩5分
または「新高円寺駅」より徒歩7分
関東バス(中野駅-五日市街道営業所)「杉並車庫」より徒歩5分
都営・京王バス(渋谷駅-阿佐ヶ谷駅)「セシオン杉並前」
または「高円寺陸橋」より徒歩2分

専用フォーム



障害等のため、設備、情報保障等の配慮が必要な場合は、申し込み時にお知らせください。

陽明文庫講座とは

公益財団法人陽明文庫(理事長:近衛忠輝、文庫長:名和修)が所蔵する貴重資料の数々をご紹介します。同文庫は、1938年(昭和13年)に当時の内閣総理大臣近衛文麿(近衛家29代当主)が、仁和寺の北西部に設立した特殊な歴史資料館で、藤原道長の自筆日記「御堂関白記」(国宝・世界の記憶[世界記憶遺産])、名筆の集大成である「大手鑑」(国宝)等、五摂家の筆頭である近衛家が、宮廷文化の中心として護り伝えてきた貴重な宝物を収蔵しています。近衛家に伝来した歴史的又は美術的に重要な史料、古文書、典籍その他の物品を保存管理するとともに、これらの調査研究により、学術上、社会教育上の効用に供し、わが国の歴史や美術の研究に資することを目的としています。

日本学術振興会科学研究費補助金(略称:科研費)事業による

研究プロジェクト(研究拠点:東京大学史料編纂所、代表者:同教授田島公)が主催する本講座は、2011年より京都を会場にスタートしています。本プロジェクトチームは、陽明文庫所蔵近衛家伝来資料の全目録のデータベース化や、貴重資料のデジタル撮影とその画像公開の準備に取り組むとともに、これらの事業により得た研究成果と、同文庫の活動を公開講座という形で社会的に広くご紹介してまいりました。本講座は、既に7年目を迎え20講に及ぶ講演が実施されていますが、このたび、杉並区の協力を得て、会場を初めて東京にも設け「陽明文庫講座」を開催することとなりました。各大学の学生や、地域、一般の皆様にも公開した形での講座となりますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

杉並区は、2016年3月23日、「杉並区と公益財団法人陽明文庫との交流に関する覚書」を締結しました。覚書によって、杉並区が「荻外荘(*)」の近代遺跡としての整備を進めてゆくにあたり、相互の歴史と文化を尊重して理解を深め合い、資料調査や展示などを協力して行うこととなりました。

*東京都杉並区荻窪にある近衛文麿旧宅。2016年3月、国の史跡に指定されました。

独創的で先駆的な研究を発展させることを目的とする助成費で、学術全般(人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野)で活用されています。国内の研究機関に所属する研究者が研究計画を申請し、複数の研究者による審査を受けた上で、その課題が評価されれば、年度毎の計画にしたがい交付を受けることができます。この制度は、文部科学省およびその外郭団体である独立行政法人日本学術振興会の事業のひとつで、税金で賄われています。

詳しくはWEBで <https://www.jpsps.go.jp/j-grantsinaid/>

科研費って何?

なみすけ物知り!

